

第三セクター等経営健全化方針

この方針は、相当程度の財政的なリスクが存在する第三セクター等と関係を有する地方公共団体が、当該第三セクター等の抜本的改革を含む経営健全化のための方針を定めるものである。

1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 令和2年11月13日
作成担当部署 呉市 都市部 交通政策課

2 第三セクター等の概要

法人名 齋島汽船株式会社
代表者名 代表取締役 北東 一平
所在地 広島県呉市豊浜町大字豊島 3526 番地の 15
設立年月日 昭和 35 年 3 月 19 日
資本金 10,000 千円【当該地方公共団体の出資額（出資割合）9,609 千円(96.09%)】
業務内容 定期航路事業及び付帯する一切の事業

3 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

齋島汽船株式会社は、旧豊浜町が離島航路である齋島一久比航路（以下「齋島航路」）の運航を目的として設立した第三セクターであり、平成17年3月の広域合併とともに呉市に引き継がれたものである。

また、旧豊町において、離島航路である三角一久比航路（以下「三角航路」）を直営により運航を実施してきており、この航路についても平成17年3月の広域合併により呉市へ引き継がれ、以後、呉市直営により運航を実施してきた。

平成27年4月、将来にわたり安定した航路を維持するため、経営の効率化を図ることを目的として、三角航路を齋島汽船株式会社に譲渡し、隣接する2航路の経営主体の一元化を図ったことにより、現在の事業形態となった。

当該法人の平成29年度から令和元年度までの損益計算書によれば、運賃収入等の営業収益については、両島住民の減少や高齢化の進行などに伴い年間約5%ずつ減少している。一方、人件費・修繕費・燃料費等の営業費用については、年度により修繕費の多少はあるものの、毎年約60,000千円程度となっており、これに伴い経常損失は毎年約56,000千円程度で推移している。

これまで、離島航路整備法に基づく、国から当該法人への離島航路運営費等補助金や広島県・呉市からの補助金により経営を維持しているが、現状のまま推移すると、今後、経常損失が拡大していき、それに伴い補填のための補助金も増額していくものと予想される。

また、これらの補助金のほか、当該法人の事業運営に要する運転資金についても、呉市が短期貸付を行うことにより、経営の安定化についても支援しているところである。

さらに、呉市は、当該法人の最大の出資者（96.09%）として、事業運営に当たり、常に情報共有や協議などを行うとともに、市監査事務局による監査の実施などにより、経営状況の把握に努め、毎年、当該法人の経営状況を市議会に報告している。

4 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

両島住民にとって、両航路は、通院、通勤、買い物など、日常生活に欠かすことのできない生活航路であるとともに、三角航路においては、基幹産業である柑橘類の運送が必要なことから、車両運搬のためフェリーでの運航が必要となっている。

両島住民の生活の維持のため、航路廃止等については当面考えられない状況の下、今後も安定的に運航を継続するためにも、呉市の負担額を圧縮する必要もある。

呉市としては、両航路事業の公共性・公益性と、操船などの免許を有する専門職が必要な事業であることを考慮し、今後も、第三セクターによる運営の継続が望ましいと考えている。

そのためにも、今後も呉市が当該法人の運営に積極的に関与しながら、経営の効率化・合理化について協議・検討を継続的に実施し、経営健全化に向けた取組を推進する。

第三セクター等経営健全化方針

5 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

本市においては、当該法人が運航する「齋島航路」、「三角航路」の2航路のほか、民間企業の運航する情島と本土を結ぶ「情島航路」と、大崎下島(豊地区)と大崎上島を結ぶ「小長明石航路」があり、これらの運航に対する支援を行いながら、航路を維持している。

呉市では、これらの4航路について、今後も、安定した運航の維持が必要と認識しており、令和2年9月策定の「呉市地域公共交通網形成計画」において、島しょ部住民の日常生活を維持するうえで必要な移動手段と位置づけ、維持・確保及び継続的な運航に向けて事業の効率化に対する考え方等を示している。これらを踏まえ、当該法人と連携し、次のような経費の削減手法等による更なる経営の効率化・合理化を図る。

- 利用実態に応じた運航便数や寄港地の見直しなど、運航の効率化の検討
 - ・需要に合わせた適正な便数での運航や、地域の実情に合わせた寄港地の見直しについて検討します。
- 隣接する2航路（齋島航路・三角航路）の統合の検討
 - ・高速船を運航している齋島航路とフェリーを運航している三角航路は、隣接していることから、利用実態や地域の実情を勘案し、航路統合について検討します。
- 齋島汽船株式会社が実施する経費節減に向けた取組に対する協議、点検、評価の実施
 - ・齋島汽船株式会社が作成する「離島航路3カ年計画」に、呉市も積極的に関与しながら内容を協議するとともに、取組に対して定期的に点検、評価を行い、経費節減を図る。
 - 例1：アイドリングストップ等による燃料費の抑制
 - 例2：船員自らが行う定期的な点検による大規模修繕発生リスクの縮小 など

(参考)

6 法人の財政状況

	項目	金額(千円)		
		平成29年度	平成30年度	令和元年度
貸借対照表から	資産総額 ①	17,439	13,045	17,446
	現金・預金	9,674	5,510	10,170
	未収金	92	68	70
	貯蔵品・船内準備金	283	409	264
	固定資産	6,902	6,902	6,902
	繰延資産	488	156	40
	負債総額 ②	64,881	55,937	59,944
	短期借入金	49,000	54,000	58,000
	未払金	14,647	1,118	1,141
	前受金・預り金	1,234	819	803
純資産額 ③(①-②)	▲ 47,442	▲ 42,892	▲ 42,498	

	項目	金額(千円)		
		平成29年度	平成30年度	令和元年度
損益計算書から	営業収益 ①	4,171	3,956	3,788
	営業外収益 ②	1,380	416	0
	営業費用 ③	66,748	61,016	60,039
	営業外費用 ④	17	19	18
	経常損益 ⑤((①+②)-(③+④))	▲ 61,214	▲ 56,663	▲ 56,269
	特別損益 ⑥	53,735	61,213	56,663
	当期純損益 ⑦(⑤+⑥)	▲ 7,479	4,550	394